令和7年度　比叡山高等学校　学校関係者評価　保護者対象アンケート結果（令和7年12月実施）

実施方法:各項目について「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」「わからない」のいずれかを選択

評価方法：「わからない」の回答を除き、肯定的回答（「あてはまる」「ややあてはまる」）の回答を下記の割合ごとに、Ａ～Ｄで評価

（肯定的回答が75％以上･･･Ａ、75％未満50％以上･･･Ｂ、50％未満25％以上･･･Ｃ、２５％未満･･･Ｄ）

領域	評価項目	今年	昨年
1　学校経営	学校の教育方針や教育目標、教育活動について理解が得られるようわかりやすく説明している。	A	A
	学校の教育方針や教育目標が実現できるよう具体的な取り組みを進めている。	A	A
2　学習指導	授業を工夫し、生徒の能力を高め、生徒自らが考える主体的な学習が行なわれている。	A	B
	各類（コース）の特性に合わせた適切な学習指導が行われ、個々の学力に応じた個別最適教材を提供できている。	A	B
3　生活指導	掃除・挨拶を中心に、基本的な生活習慣の確立に向けた効果的な指導ができている。	A	A
	規則や規律を守る指導が適切に行われ、社会の一員としての意識を高める取り組みができている。	A	A
4　進路指導	各類（コース）の特性に合わせた計画マップを明示し、適切な進路指導が行われている。	A	A
	生徒自らが将来の目標を達成できるよう、進路に関する情報や資料の収集、およびそれらの提供が適切に行われている	A	A
5　特別活動等	朝礼・集会・叡友祭などの学校行事を通じ、互いに高め合い認め合う活動が行なわれている。	A	A
	部活動が顧問の指導の下に、生徒が主体性を持って取組む活発で有意義な活動となっている。	A	A
6　学校図書館	図書室の情報を提供し、図書室の利用を促進するように努めている。	A	A
7　保健指導	日常の健康観察に努めるとともに、生徒のけがや病気に対して適切な対応ができている。	A	A
	保健だよりなどの情報提供などにより、健康・安全に対する意識の向上に努めている。	A	A
8　人権教育	諸行事などをはじめとして、個々の生徒がお互いを尊重し合えるような集団づくりに努めている。	A	A
	教員が自らの人権意識向上に努め、多様な生徒の個性を認める支援や啓発を適切に行なっている。	A	A
9　環境教育	清掃活動などの指導を通じて、奉仕の精神と美化意識の向上に努めている。	A	A
	日常のゴミ分別の指導や節電への取り組みや探究学習を通じて、環境問題に対する意識を向上させる努力がなされてい	A	A
10　その他 学校の取り組み	厳粛な朝礼および朝礼訓話を通じて、生徒の精神的な成長を促す取り組みが行えている。	A	A
	クラス担任・学年主任が中心となって、保護者との連携が行われている。	A	A
	学校生活の様々な場面で、体罰やいじめの防止および早期発見に努め、迅速な対応が適切に行なわれている。	A	A
	ホームページ等を活用して、教育活動・学校案内についての情報発信に努めている。	A	A
	教育相談体制が整備され、個々の事例に対して協働して支援する体制づくりに努めている。	A	A
	ICT機器を用いるなどして、生徒の主体的、能動的、協働的な学習や活動が深まるように努めている。	A	A
	諸外国の文化や価値観を理解し、国際社会の問題について身近に考える取り組みができている。	A	A

回答数　1年	199
2年	183
3年	157
合計	539
回答率	41.0 %